

令和6年度 第4回 学校運営協議会

令和7年2月14日(金) 15:00～16:00

1 日程説明（於：校長室）

2 開催要件確認

3 会長あいさつ

4 校長あいさつ

5 議長の選出

6 前回議事録確認

7 熟 議

(1) R6 年度学校関係者評価について(学校評価・いじめ防止等のための基本的な方針について)

ア 「何のために」話し合うのか

学校評価実施要項（4月5日付）に基づき「各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図るとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める」ため。

イ 「どこまで」話し合うか

各種の資料の検証や学校の諸活動の参観等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

(2) R7 年度学校運営基本方針について

ア 「何のために」話し合うのか

教育課程の編成及び学校経営に関する全体構想等、基本的な方針について協議会の承認を得るため。

イ 「どこまで」話し合うか

学校教育目標、目指す子供像、つきたい力、重点項目等、実態を踏まえた方針となっているか熟議する。

※承認は R7 年度第 1 回学校運営協議会で行う。

(3) 学校運営協議会 自己評価について

ア 「何のために」話し合うのか

学校運営協議会自己評価実施要項（4月2日付）に基づき「各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る」ため。

イ 「どこまで」話し合うか

必須の評価項目である4項目、各協議会で追加する項目について話し合う。

8 報告・連絡

(1) 夢育やらまいかCS加算分の報告について

(2) R7 年度学校運営協議会開催計画について

- 第1回 4月17日(木) 14:30～
- 第2回 6月26日(木) 14:30～
- 第3回 11月25日(火) 14:30～
- 第4回 2月17日(火) 15:00～

9 浜松市教育委員会より

10 その他

- ・部活動参観（自由参観）
- ・令和7年度 第1回学校運営協議会 令和7年4月17日(木) 14:30～16:00

令和6年度 第3回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月26日（火） 14時30分から16時20分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木誠、市川相寿、児玉順子、森下廣隆、山下尚美、正久幸廣、三浦徳志
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 北野昌宏（校長）、沖田暁（教頭）、清水悦子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水悠（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 清水 悦子（CSディレクター）

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山下尚美委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 会議記録

司会の 沖田暁 教頭から、委員総数7名全員の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

11 協議事項

- (1) 参観・行事への取組の様子
- (2) 総合的な学習の時間について
- (3) 今後の部活動について

(1) 参観・行事への取組の様子

議題の内容に先立ち、CSの取り組み方について以下の発言があった

- ・現状、CSコーディネーターである自分と学校だけのやりとりで支援の話が進むことが多いという印象である。やはり、この場に話を出し、委員の皆さんに知ってもらい、熟議を経て支援、という流れを大切にしたい。また、学校の先生にも自分たちという支援する団体があることを意識していただきたい。 (市川委員)
- ・流れは、先生方に課題をあげていただいて意見交換をし、そこで地域に依頼する事があれば市川さんに動いていただく、というものと理解している。ただ、他の学校からは、学校の話聞いて意見交換だけになってしまっていることが課題ではないかという話も聞いている。 (山下委員)
- ・行事の手伝いなどは、地域やCS委員を使ってもらおうとよいと思う。 (正久委員)

授業の参観後、委員より以下の発言があった。

- ・公開授業に参加し生徒の様子が見られてよかった。地域の人がもっと気楽に参加できるとよいと思った。 (鈴木委員)

- ・見てみたい授業があったので、(先月の) 1 週間の公開授業期間があってよかった。
初めての蒼天祭では、合唱はちょっと元気がないように感じたが、それぞれがやってきたことを発表する場があってよかったと思った。午後からは子供たちが元気に楽しんでいる姿を見られてよかった。(児玉委員)
- ・春中の生徒は落ち着いていると思う。
蒼天祭を見て元気をもらった。3 年生は役割が多くて大変だったということを聞いていたが、楽しい雰囲気は感じた。達成感があったと思う。(山下委員)
- ・蒼天祭の準備などは、CS 委員を裏方に。何か手伝えることがあれば言ってほしい。(正久委員他)

(2) 総合的な学習の時間について

議長の指示により教頭から別紙資料に基づき「総合的な学習の時間」についての説明があり、委員からは以下の発言があった

- ・職場体験を依頼するにあたって色々と検討する必要があるのではないかと。
立志式の講義依頼はSさん(地域住民)にするつもりである。(市川委員)
- ・講義依頼は、起業している方や生徒と年齢の近い方に頼んでもよいのではないかと。(児玉委員)
- ・講義は、聴いた生徒が何を思うか、また、する側も、生徒に近い距離感と伝え方が大事なのではないかと。(正久委員)
- ・立志式以外に卒業生等の進路講座があっても良いのではないかと。(鈴木委員)
- ・職場体験で生徒が何を感じたか、学んだことのまとめを運営協議会で聞かせてくれば、これからの体験場所探しに生かせると思う。(児玉委員)
- ・2 日間、職場 1 件につき 1 人と考えるとなかなか難しい。時間がもたない、怪我をさせてはいけないという理由で断られた所もあるので、せめて 2 人 1 組にしてくればお願いする場所も増えると思う。(市川委員)
- ・生徒が仕事を体験する事が大事で、その職場が(自分に)合っているかどうかは関係ないと思う。(正久委員)
- ・「働く」という体験をさせるのか、地域の職場を体験させるのかなど、目的のもち方で体験学習も変わってくると思う。(児玉委員)

(3) 今後の部活動について

議長の指示により校長から別紙資料に基づき「休日の部活動の地域移行」についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・平日とそれ以外で指導者が替わると、教え方や考え方も違うので、生徒は大変だろう。また、山間部、過疎地域の生徒は移動するだけでも大変だと思う。(市川委員)
- ・もともとの生徒数が少ない。その中で、生徒が外部の活動を選んで行ってしまうと、残った生徒では何もできない可能性もでてくる。考えていかなければいけないと思う。
個人的には炭で火を起こして煮炊きをしたりロープワークをやったりするクラブ(春野の自然を生かしたクラブ)があっても良いのではと思う。(山下委員)

○その他連絡事項等

沖田暁 教頭から以下の連絡があった。

今後の学校運営協議会予定

第 4 回 令和 7 年 2 月 14 日(金) 15 時 00 分～

(学校評価・CS 自己評価・R 7 年度学校運営方針 等)

○部活動参観(自由参観・16 時 20 分～)

学校評価アンケート【全体 肯定評価% 推移比較】

番号	質問事項	生徒	保護者	教員			
		R5	R6	R5	R6	R5	R6
キャリア教育	1 私は、自分の将来に対し、夢や希望をもっている。	72.1%	84.0%	65.1%	72.0%	100.0%	88.9%
	2 私は、自分のよいところを知っている。	72.1%	80.0%	79.1%	90.0%	100.0%	100.0%
	3 私は、自分のあこがれる生き方について考えたり、他の人の考えを聞いたりしている。	62.8%	88.0%	55.8%	72.0%	88.9%	88.9%
学習	4 私は、授業に意欲的に取り組んでいる。	95.3%	92.0%	85.1%	60.0%	100.0%	100.0%
	5 私は、家庭において、学習に意欲的に取り組んでいる。	58.1%	48.0%	55.8%	48.0%	88.9%	77.8%
	6 私は、自分の興味・関心や理解度に合わせて、学習内容や学習方法を工夫して学習に取り組んでいる。	58.1%	82.0%	55.8%	54.0%	100.0%	100.0%
生活	7 先生は、わかりやすく授業を進めている。	97.7%	86.0%	72.1%	68.0%	88.9%	88.9%
	8 私は、授業で、話し合ったり、友達と力を合わせて課題に取り組んだりしている。	88.4%	86.0%	83.7%	80.0%	100.0%	88.9%
	9 私は、授業で、自分の考えをまとめる時間が十分にあると感じている。	88.0%	92.0%	76.7%	82.0%	77.8%	77.8%
学習	10 私は、授業や普段の生活において、教科書やその他の書籍、新聞やインターネットなどのメディアから情報を収集し、必要な情報を選択して活用している。	74.4%	74.0%	74.4%	72.0%	77.8%	88.9%
	11 私は、学校行事に積極的に取り組み、自分を高める(達成感を得る)ことができた。	95.3%	92.0%	85.3%	100.0%	100.0%	88.9%
	12 私は、部活動に目標をもって取り組み、自分の成長を感じたり達成感を得たりすることができている。(できた。)	88.4%	86.0%	79.1%	80.0%	100.0%	100.0%
生活	13 私は、学校での自分の役割(委員、係、清掃等)に積極的に取り組んでいる。	95.3%	94.0%	85.3%	84.0%	100.0%	88.9%
	14 私は、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。	88.0%	82.0%	83.7%	91.7%	100.0%	100.0%
	15 私は、時間や学校のきまりを守り生活をしている。	97.7%	84.0%	80.7%	82.0%	100.0%	100.0%
生活	16 私は、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかり守っている。	100.0%	100.0%	97.7%	100.0%	90.0%	88.9%
	17 私は、節度をもってSNSを利用している。(ゲーム機等を通して他人とやりとりしている場合も含む)	88.4%	82.0%	80.7%	88.0%	100.0%	100.0%
	18 私は、春野中の先生は学校生活の中で、自分によく声をかけてくれると思う。	93.0%	92.0%	88.4%	88.0%	100.0%	100.0%
生活	19 私は、学習や生活等において、先生に相談しやすいと感じている。	97.7%	82.0%	83.7%	82.0%	88.9%	100.0%
	20 私は、「学級、学校は、安心できる場所だ」と感じている。	93.0%	72.0%	97.7%	88.0%	100.0%	100.0%
	21 学校は、情報をたよりやブログ、ホームページなどでわかりやすく発信している。	95.3%	96.0%	93.0%	92.0%	77.8%	77.8%
生活	22 私は、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。	76.7%	70.0%	80.7%	80.0%	77.8%	77.8%
	23 私の春野中学校での学校生活は、充実している。	95.3%	92.0%	80.7%	84.0%	80.0%	100.0%

◆学校評価全般について

生徒は授業や行事等、学校での活動に一生懸命取り組んでいる。そして、設問23の回答にもあるとおり、生徒・保護者ともに、学校生活には概ね満足していることがうかがえる。この表れを維持していけるよう、よりPDCAを意識した学校運営を行っていききたい。ただ、生徒・保護者と教師間で、意識のずれが目立つ項目も、依然として見られる。生徒の様子の丁寧な見取りと、それをもとにした有効な支援策を考え実行したい。

◆自分の夢や生き方・自己肯定感について

キャリア教育の推進は、本年度力入れてきたところであり、その結果、設問1～3において肯定的な回答を増やすことができた。来年度は、今年度見直しを行った「総合的な学習の時間」の計画を実行する。それを通して、自分や自分のこれからに前向きな意識をもてる生徒を育成したい。

◆学習面について

設問5、6より、今年度も家庭学習に不安をもつ生徒の割合が多い結果となった。学ぶ意義や自主学習の方法について伝えるなど、生徒の困り感に寄り添えるよう工夫してきたが、来年度はさらに一歩踏み込みたい。具体的には、次の3点である。基礎学力の定着も大切につつ、来年度は、これまでも少し違ったアプローチを実践したい。

- ① 生徒が自分に必要な学習について自分自身で考える(振り返る)機会を多く設け、それをもとに計画立てて学習を行えるよう支援すること。
- ② 家庭学習の場が、将来にわたって学び続ける姿勢を育む場となるよう、課題の出し方(例えば課題解決的な課題)を工夫すること。
- ③ ①・②等を行う際には、できるかぎり個別最適化を図ること。

◆特別活動について

第1回の蒼天祭をはじめとした学校行事、また部活動等に一生懸命取り組むことで、生徒は大きな充実感と自己の成長の手応えを得ることができたと考ええる。来年度は、より生徒の自主性を重んじる方向で様々な活動を展開したい。

◆生活面について(いじめへの対応については別紙参照)

設問20「学級、学校は、安心できる場所だ」と感じている生徒・保護者が減少する結果となった。また、設問18・19にあるとおり、教師からの声掛けの頻度と相談しやすさが同じ割合になっていない点や、安全・安心な学校に対する生徒・保護者と教師の意識にずれがある点も課題である。現在行っている生徒へのアプローチ(声かけ等)の仕方をしっかりと見直すとともに、もっと生徒を丁寧に見取り、相談しやすい雰囲気をつくっていくことで、生徒との信頼関係を強めていきたい。

(別紙)

学校いじめ防止基本方針に基づく取組状況や目標達成状況について

■ いじめ問題への取組について課題及び見直しが必要となった点や今後に向けての改善点

○課題

- ① 指導や声掛けのタイミング。
- ② 教員が少人数のため、聞き取りや情報共有等に関わる時間確保が難しい。(生徒在校中に聞き取りが必要になった場合等)
- ③ 記録の保存が繁雑である。

○改善策

①について

日頃から生徒との人間関係ができていなければ、どのタイミングで指導・声かけしてもうまくいかない。まずは、生徒と多くコミュニケーションをとる中で、良好な関係を構築する。

教師に相談しやすい雰囲気づくりや教育相談体制の充実といった、積極的生徒指導により力を入れる。

命に関わる問題については即時対応。管理職への迅速な連絡。他職員との連携(いじめ対策委員会)。それ以外は臨機応変だが、早いタイミングで対応。

ただし、直接見たこと以外は、先入観をもつことなく本人や周囲の話を聞いたうえで、客観的に状況を把握し対応。

上記の点を、まず年度当初の生徒指導研修にて必ず確認。その後は、生徒指導委員会の中で、随時確認と修正を行う。

②について

職員の人数に限りはあるが、「共有しなければいけない」という意識を強くもつことが大切である。

のりしろを意識してお互い声をかけあっていく。

案件にもよるが、聞き取りしたことや指導を行ったことについて、教員用の GoogleClassroom 上で情報を集約し、いつでもどこでも共有できるようにする。

(情報が更新されたことを職員に知らせる方法について決める必要がある。)

③について

保存場所、方法については一元化する。また、当然だが、記録は素早く行う。

いじめ対策委員会会議録等、自校のいじめ対応に関わる記録は落とすことなく確実にを行う。

令和7年度 浜松市立春野中学校 グランドデザイン(案)

【第4次浜松市教育総合計画】

基本理念 「描く夢や未来の実現」

・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

・日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上

○目指すこどもの姿

・自分らしさを大切にすることも ・他者と協働し、主体的に行動できることも ・自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

○目指す教職員の姿

・子供の自分らしさを受け止める教職員 ・愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員 ・専門性と指導力を磨き続ける教職員



<校区の目指すこども像>

春野を誇りとし、夢や希望に向けて、粘り強く努力する子



【学校教育目標】

春野を誇りとし、自他とかかわり、成長する生徒の育成 ～自立と共生～

目指す生徒像

- 自ら進んで学び、自己の考えを堂々と語れる生徒（自分らしさの発揮・表現力の向上）
- 自他を尊重し、いじめや差別・偏見を許さない生徒（他者との共生・自己肯定感の向上）
- 夢や目標をもち、将来を見通しながら、粘り強く努力を繰り返す生徒（自己調整力・忍耐力の育成）
- 気持ちのよいあいさつ・言動で、清々しいかかわりができる生徒（人間関係形成・社会形成能力の育成）

確かな学力(知)

○個別最適な学び・協働的な学び

○△□◇

- ・学習習慣確立の手立て工夫（課題の与え方・声掛け・見取り）
- ・学びの自己調整の手立て工夫（自己評価シート・単元計画）
- ・話し合い活動の充実（機会保障・効果的な方法研究・ICT活用）

○指導の工夫(授業改善)

- ・教材(題材)、単元計画の工夫（学び意義を感じ、探究心をくすぐる授業）
- ・ICTの効果的活用（主体的・対話的で深い学びにつなげる）

○学ぶ意欲の醸成 ○△□◇

- ・各教科での丁寧なガイダンス
- ・3年間を見通した探究・体験・提案（総合的な学習・キャリア体験）
- ・キャリアカウンセリングの実施

豊かな感性(徳)

○道徳教育の充実 ○△

- ・「自他の存在を大切にする」道徳科授業の展開
- ・いじめ・差別・偏見を許さない集団づくり

○特別活動の充実 ○□

- ・学校行事、係・委員会活動の充実
- ・生徒主体で活動する場の保障

○生徒理解・相談体制の確立

- ・「かかわり」を軸とした信頼関係の構築
- ・傾聴を基本とするカウンセリング
- ・全校体制での生徒指導・支援

○地域との積極的なかかわり ○◇

- ・地域行事、ボランティア活動への積極的参加
- ・地域の人的・物的資源の積極的活用

健やかな心身(体)

○規則正しい生活の推進 △□

- ・機会を逃さない日常的、継続的な声掛け、指導（あいさつ・返事）
- ・集団生活での個々の役割と責任を果たす態度の育成（清掃・給食・係・委員会等）

○健康な身体づくり △□

- ・疾病治療の奨励、治療率の向上
- ・保健活動の充実（健康安全の日・学校保健週間等）

○命を守る教育

- ・講話・講座等の充実（命の講話・薬学講座・安全教室等）

○危機管理体制の見直し、充実

- ・避難訓練の改善
- ・安全教育の充実

《キャリア教育の推進》

※キャリアパスポートの効果的な活用

※キャリアカウンセリングの充実

○かかわる力(人間関係形成・社会形成能力)

△見つめる力(自己理解・自己管理能力)

□挑戦する力(課題対応能力)

◇つなげる力(キャリアプランニング能力)

生徒の元気を地域に伝える「チーム春野」…生徒と教職員

地域に元気を運ぶ春中生…地域で活躍する生徒の姿

目指す
教師像

「かかわり」を大切にする教職員

○生徒とかかわる

○保護者とかかわる

○地域とかかわる

○教職員どうしかかわる

＜評価項目 1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校側からの説明は簡潔明瞭であり、委員からも積極的な発言・意見が発せられた。十分な熟議をすることができ、学校運営の基本方針に浮いて共有することができた。 (鈴木会長)
- 学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、目標や課題等、理解することができた。
また、各委員が現状を理解し、目指す子ども像について多くの意見を出し合うことができた。
(児玉委員)
- 学校運営の基本方針について、校長からの説明のあと、十分協議し、委員全員で賛同することができた。
(森下委員)
- 自分以外の委員さん方は積極的に意見を発信していた。自分は話を聞くのに精一杯であった。
(三浦委員)
- 学校長から令和 6 年度グランドデザインの提示があり、学校教育目標等について丁寧な説明を受け、協議会にて熟議し承認した。
(市川委員)

＜評価項目 2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校支援活動についての熟議をすすめることはできた。しかし、学校・家庭・地域の役割分担を考える中で、地域としての学校支援はまだ不十分であると感じる。
(鈴木会長)
- 本年度は、新しいも線で学校行事の見直しをなされ、小規模校の特色を生かした活動が展開された。学校・家庭・地域の一体化が感じられた。
(児玉委員)
- 学校支援活動については、学校側と委員側との間で多くの協議、熟議ができた。その結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきことや役割分担がある程度明確になった。
(森下委員)
- 協議会で決定し実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行えた。
(三浦委員)
- 学校運営の基本方針に沿った活動を小規模の学校だけでやっていくのはたいへんである。運営協議会はもとより、地域の力を借りて子どもたちのために活動していく。そのために、もっともっと学校側から支援要請を運営協議会に投げかけ、熟議し、よりよい活動をしていくことを再確認した。
(市川委員)
- 学校側の示す課題について、また、生徒のよりよい学びのために、各委員それぞれの立場や考えから活発に意見が出されていた。
(山下委員)

＜評価項目 3＞協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 協議会での協議結果を学校運営に反映できれば、情報発信はそれほど必要ないと思う。
(鈴木会長)
- ホームページ、学校だよりでの情報発信はあったが、地域へ発信するのであれば、もう少し多く学校だより（運営協議会だより）を発行したい。
(児玉委員)
- 個人的には話すことがあったが、場所と時間の関係で不十分であった。
(森下委員)
- 情報発信はまだまだだと思う。項目 2 にあるように活動量が増えれば、情報紙等で発信ができると考える。
(市川委員)
- 学校ホームページ内で、議事録や協議会の開催の報告や様子については、ブログを用いて確実に発信されている。
(山下委員)

＜評価項目 4＞今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 令和 6 年度目標の継続。 (鈴木会長)
- 一人一人の子どもを温かく見守ることができるよう、学校・家庭・地域のより一層の連携を図りたい。 (児玉委員)
- 「休日の部活動の地域移行」「ますます進むであろう小規模校化」などへの対応、支援について十分に協議する必要があると思う。 (森下委員)
- 仕事の関係で不参加のときがあったので、参加することの重要性を感じた。 (三浦委員)
- 校長、教頭とは接点があるが、他の先生とのつながりが少ない。先生方と話をする場をつくっていききたい。 (市川委員)
- 校長、教頭以外の先生方と委員の交流機会を設けることで、先生がたの要望や困りごとなどを理解し、より連携を深められるようにしていきたい。 (山下委員)